

「核なき世界へ」「多様性の尊重を」

平和を守り人権いかに政治を

日本共産党



核兵器禁止条約第3回締約国会議の様子＝3月3日ニューヨーク

世界的にも注目を集める「核なき世界」の実現や「多様性の尊重」では、大きな前進がありました。

今年は、原爆投下から80年。日本被団協のノーベル平和賞受賞が大きな力となり、核兵器廃絶の運動が高まっています。一方、核兵器禁止条約第3回締約国会議への参加を取りやめた日本政府に、非難の声も聞かれています。議会では、日本共産党の質問に「残念」と市長が答弁。「平和



施策の充実をはかり、戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝え続ける」と表明しました。

またトランプ米大統領が「性別は男性・女性の二つのみ」と発言し、多様性を否定しています。日本共産党の質問に、「人権を踏みこむ発言は大変遺憾」と市長が発言。当事者に勇気を与えるものとなりました。

地域防災力の向上は、多くの市民の願いです。しかし流山市の取り組みを不安視する声が子ども（議会報告会など）からも聞かれています。

日本共産党の追及により、飲食店組合や入浴施設との災害協定の拡大は前進したものの、自助と他自治体・自衛隊からの支援に依存する流山市。指定避難所での避難者は人口の5%（1万人余）しか

防災 「震度7」を想定し、対策の強化を

想定せず、段ボール等のベッド備蓄（26年3月末）はたった300台。指定避難所の半数に防災備蓄倉庫がなく、災害弱者の避難計画も9割が未策定です。抜本的強化へ、世論と運動を広げましょう。



2025年度 予算

負担増にキッパリ 対決 願い実現に全力

予算化されました

- 高齢者の補聴器購入費助成や、一人暮らし高齢者宅への人感センサー設置、高齢者なんでも相談室の職員増員
- 地域子育て支援施設の新設や、ひとり親家庭などの学習支援対象拡大
- ぐりーんバス継続運行に向けた取り組み
- 老朽校舎の改修や、救急隊の増隊、他

2025年度予算は総額855億円。人口増を反映し、市税収入だけで21億円も増額されています。しかし、くらしが大変な中、学校給食費で2億円、国保料で3億円の負担増を市民に押し付けています。

また、多様化する市民要望等への対応は40億円も減額（2年連続）しました。その結果、補聴器は反対しました。

購入費助成など新制度を創設しても、利用しづらい条件付き。防犯機能付き電話の購入費助成など東葛地域では流山市だけ未実施です。

この背景には、観光事業など市長肝いりの事業への多額な税金投入に加え、TX沿線開発とそれに伴う関連事業への投資などがあり、日本共産党は反対しました。

2025年第1回定例会 星取表

会派			日本共産党				流政会					自民党		公明党		流山みらい								
議員名 ○賛成 ×反対 一棄権 ※議長は表決に参加しない。			乾 えり	高橋 あきら	植田 和子	小田 桐仙	小沢 えみり	川本 大岳	渡辺 仁二	近藤 みほ	石原 修治	坂巻 儀一 												



税金の使い方ただす

日本共産党の4議席



小田 桐たかし



植田 和子



高橋あきら



いぬい えり



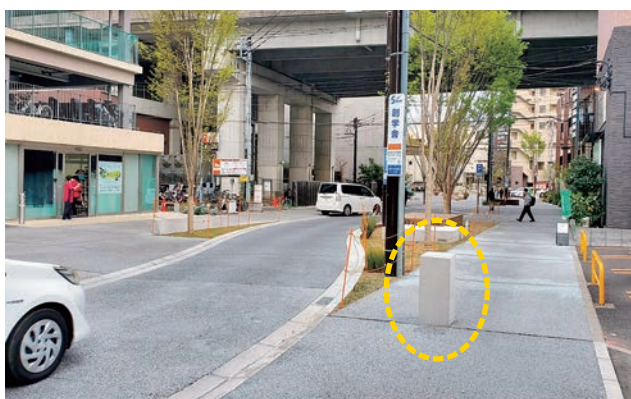
「いざきロード」より、優先すべきことがあるはずですが…

3月29日、白みりんミュージアムがオープンしました。総建設費約7億円、施設前の駐車場用地に6千万円超を投入。運営費は年間数千万円規模の赤字です。しかも、運営にあたる官民連携の「観光株式会社（流山版DMO）」には、補助金含め年間1億2千万円余の税金を投入。市内零細事業者（3千社）が支払う市独自の税金のほとんどを1社に注ぎ込むのです。

市長肝入り事業はその他にも。利根運河そばの旧割烹新川屋本館をめぐっては1億6千万円もの税金を投入しましたが、「活用方法が見いだせない」と売却する方針です。

「税金は市長のポケットマネーじゃない」
市長肝入りには大盤振る舞い

前回市長・市議選から2年。くらしと営業の厳しさが増す一方、「政治とカネ」が繰り返される25年度は、例年以上に、税金の使い方が厳しく問われています。



1期工事が完成した「いざきロード」。歩道真ん中のコンクリート片（黄色いカコミ）に「危ない」との声も…

市民から「いざきロード」と批判されるおたかの森駅そばの市道の再整備には5億円を投入。日本共産党の追及に、市担当課は「（元の道路に）行政上の不都合はなく、市民から改善の要望もない」とするにもかかわらず、市長は「中止しない」と強硬姿勢です。

税金の使い方をただす立場から、日本共産党は議会でも唯一、不要不急の公共事業の中止を求めています。

公設

適正管理でくらしの安心を

八潮市の道路陥没事故から公共施設やインフラ整備に不安が広がっています。

日本共産党の質問では、耐震化率は上水道で63%、下水道は66%に達したことや、江戸川台小学校に続き、東小学校で校舎改修がスタートすることが分かった。

りました。一方、ほととプラザ下花輪のサウナは故障し、長期使用不可に。東消防署の給排水管は「予想以上に劣化していた」と急ぎよ全面的に更新します。計画的な取り組みが不可欠です。



教育

子どもの訴え実る

子ども達の意見を可能な限り実現させようとする取り組みが始まっています。



「暑すぎる技術室にエアコンつけて」…中学生からの訴えがきっかけで、今年度、北部中学校の技術室にやっとエアコンが設置されます。

また市内不登校児童・生徒が367人（昨年12月末時点）に及ぶことから、日本共産党はフリースクールに通学する子ども達への経済的支援を提案しています。

ねほりはほり

高額療養費「改悪」許さず

政府は国民世論と運動に押され、高額療養費の負担上限額引き上げを凍結。画期的な成果です。一方、市議会では意見書を否決。世論の声を聞く姿勢が問われています。

※1面下段星取表参照

人口比の病床数は全国最下位クラス

「全国47都道府県中、病院病床数は43位」…人口比とはいえ、千葉県の実態です。その県下37市中、流山市は35位。市長が期待した新病院進出も青森県八戸市内の事件から暗雲が立ち込めています。抜本的な対策が不可欠です。

身近な要求実現



側溝フタの修繕（三輪野山）

いぬい えり

県下一番の事故発生場所、国道6号線の右折禁止対策



高橋あきら



横断歩道の塗り直し（江戸川台東自治会会館前）
植田 和子

校舎改修が実現（西初石中学校）



小田 桐たかし